

# 2013年度のトピックス

日本ペイントグループのCSR活動について、2013年度の主な取り組みや成果をご紹介します。

## 創業初期(明治時代)の塗料缶デザインを復刻し「塗料の歴史」への関心機会を創出

1881(明治14)年に創業し、今年で133周年を迎えた当社は、本社ビル1階に「歴史館」を設置し、当社事業と塗料に関するさまざまな歴史資料を展示しています。2013年秋には初めての試みとして歴史館展示品と当社新製品の“コラボレーション”を実現。歴史資料を事業に活用すると同時に、顧客に「塗料の歴史」に目を向けていただく機会を創出しました。

これは、創業初期から昭和初期まで実際に使用していた塗料缶のデザインを復刻したもので、自動車補修用塗料分野の新製品に採用しました。デザインを復刻するにあたり、当社カラーデザイナーが中心となり、英文の書体を現代風にアレンジしたほか、現存する当時のこの塗料缶表面のサビもデザインの一部として取り込むなどの工夫を行いました。デザインの中には歴史ある当社登録商標「小槌」を据え、「レトロ」なイメージを演出しています。

今後も当社では歴史資料の保全に努めるだけでなく、さまざまな工夫で多くのステークホルダーの皆さまに「塗料の歴史」と塗料に関心を持っていただく機会を創出していきたいと考えています。



現存する創業初期から昭和初期まで使用していた当社塗料缶



復刻デザインを採用した自動車補修用塗料新製品

## 大阪府の大規模災害時のヘリサイン整備に当社グループが全面協力

当社の本社がある大阪府では、南海トラフ巨大地震発生時の災害を想定し、さまざまな対策を検討しています。大規模災害発生時には、陸路での食料・救援物資の輸送や、重傷被災者の病院への搬送が困難になることが想定されます。このような場面で役立つのは防災機関の救援ヘリコプターですが、ヘリコプターが救助・支援活動を行うためには目的地が正確に識別できなければなりません。その際に重要となるのが、建物の屋上に施設名称を塗料で表示する「ヘリサイン」です。当社では、大阪府の地域貢献企業制度(企業のCSR活動と大阪府の施策をマッチングするシステム)に登録しているご縁から、2007年に引き続き、2013年12月に大阪大学豊中キャンパスなど府内10ヶ所の施設におけるヘリサイン整備を実施。当社による塗料の供給だけでなく、連結子会社・日本ライナー株式会社による塗装工事も行い、いずれも無

償で提供いたしました。

「共存共栄を基本理念とし、社業を通じて社会公共の福祉に貢献する」ことを経営理念に掲げる当社グループは、今後も塗料事業をベースに地域社会への貢献を進めてまいります。



大阪大学豊中キャンパス校舎屋上に塗装されたヘリサイン

## 女性・若手社員の積極的育成に取り組むプロジェクトが始動

当社では現場・労働組合・人事本部が一体となって「働き方変革」に取り組んでおり、2011年度末には女性社員の働き方を議論する場を設けました。この議論の中から、2013年8月に生まれたのが、女性社員チームが手がける新しい住宅内装用塗料ブランド「ROOMBLOOM」です。女性の視点を活かした商品開発チームを作りたい、という声がかきつけとなりました。

現在、「ROOMBLOOM」は東京・大阪に情報発信拠点を設け、塗装体験イベントを開催するなど「塗装の楽しさ」を一般消費者に伝える取り組みを続けています。このほか、学校や福祉施設の塗替えボランティアなどのCSR活動にも積極的に取り組んでいます。

また、30代の社員を対象に、ボーダレスに活躍できる人材育成を目的とした「Global Leadership Development Program」をスタート。今年1月には、アジア合弁事業会社に1～3年の期間で4名の社員を派遣しています。

今後も当社では、女性・若手社員を中心に、当社グループの成長の礎となる人材の育成に積極的に取り組んでまいります。



女性社員チームが手がけた新ブランド「ROOMBLOOM」の第一弾商品

## JR西日本・福島駅高架下に当社塗料で塗装された「七福神」登場

塗装によって地域に活性化をもたらそうという試みが、全国で行われています。例えば、商店街のシャッターへの塗装。近年、空き家となる店が増え、シャッターが降りたままとなり、商店街の活況が低下するなど、悪影響を与えているケースが増えています。そこで、この降りたままのシャッターに華やかなイラストなどを塗装することで雰囲気明るくしようという取り組みが各地の商店街で行われており、当社グループも塗料の無償提供や塗装の無償指導などでこうした活動を支援しています。

当社の本社からほど近いJR西日本大阪環状線・福島駅の周辺は、若者が多く集まるレストランやバーなどが建ち並び、人気スポットとして注目されています。しかし、駅の改札口周辺は鉄道高架下ということもあり、光が差し込まず、「暗い」「殺風景」とのイメージがありました。そこで2013年9月に、大阪芸術大学学生のデザインによる「七福神」が当社無償提供の塗料によって駅前高架下橋脚に塗装され、周辺が明るく

生まれ変わりました。現在では、「駅の新しいシンボル」として利用客や周辺住民から歓迎されています。



JR西日本・福島駅の高架下に現れた「七福神」(当社塗料により塗装)